

平成24年度前年度に続き黒字決算(普通会計)

継続的にプラン(第二幕)への取り組みを推進中!

市民の皆様もご承知のとおり、平成23年度決算から、累積赤字を解消しておりますが、今後も財政の健全化には十分留意しながら、適切な行財政運営を行っていく必要があります。

一前年度までの成果については、平成18年度以降、毎年広報8月号にお示ししております。

今月号では、平成24年度における行政改革の主な取組みなどについて、お知らせいたします。

なお、効果額がマイナスになっている項目は未計上としていきます。

【平成24年度の行政改革効果額】

約1億35百万円

▼出先機関の見直し

◎小松島市営住宅長寿命化計画を策定し、管理戸数を760戸程度とした。

▼効率的な業務の運営

◎南小松島小学校・和田島小学校の給食調理業務を民間委託した。

▼給与の適正化

◎管理職手当25%の削減。

【効果額】 1,426万円

◎市長給料25%及び副市長・教育長給料10%削減の継続。

【効果額】 385万円

▼経常経費の削減

◎老人等無料バス優待事業費や学校用地借上料の見直し等による経費の削減。

【効果額】 2,014万円

▼歳入の確保

◎職員駐車場利用料の徴収。

【効果額】 109万円

◎豊栄団地跡地の売却収入。

【効果額】 3,510万円

◎国・県交付金事業等の活用による歳入の確保。

【効果額】 4,311万円

◎市税の徴収率94・12%(前年比0・56ポイントアップ)

【効果額】 2,585万円

▼公営企業会計、特別会計の健全化

◎住宅新築資金等貸付償還金の現年度徴収率76・03%(前年比7・58ポイントアップ)

【効果額】 115万円

平成24年度決算(普通会計)

(累積黒字額34百万円)

今回、市民の皆さんにお知らせするのが、平成24年度決算を基にした、図中(B)のラインです。

平成24年度決算は34百万円の累積黒字となりました。

平成24年度決算については、固定資産税評価額の減少などで市税総額では減収となりましたが、集中改革プランの取り組み成果をはじめ、前年度決算以上に地方交付税総額が確保されたことなどから、単年度収支では27百万円の黒字となりました。

平成25年度以降は、引き続き市税の減収が見込まれ、地方交付税では算定方法の見直しを検討されるなど、歳入が減少傾向で推移していく見通しです。

一方、歳出では喫緊の対応が求められる防災・減災対策をはじめ、新中学校建設事業などの大型事業のほか、扶助費や各特別会計への繰入金等の増加が見込まれることから、依然予断を許さない状況です。

なお、今回お示しする図中(B)のラインについては、現時点での結果及び予測に基づくものであり、今後における国の予算編成動向や社会経済情勢で大きく変わることにも想定されます。

今後における歳入動向等が不透明な状況も見据え、引き続き小松島市行政改革「集中改革プラン」(第二幕)を推進していく必要があります。そのためには行政だけでなく市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。

今後とも市民の皆さんには積極的に情報提供を行うとともに、市民参加型のまちづくりを努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

行政改革「集中改革プラン」(第二幕)を推進します。

財政収支の推移(普通会計ベース)

(単位: 億円)

